

がん検診を受診される皆様へ

以下の留意事項等についてよくご覧いただき、ご了承の上、がん検診を受診してください。

【すべてのがん検診について】

◇がん検診で実施する検査は、集団の死亡率を減少させるために有効であると科学的に証明された検査です。がん検診は年に1回(乳がん検診は2年に1回)受診し、「再検査」や「要精密検査」という結果の場合は必ず精密検査を受けてください。受診にあたってはすべての検診に次のような「デメリット」があることをご承知ください。

* 検診では見つけにくいがんもあるため、全てのがんが検診で見つかるわけではありません。

* がんがなくても、がん検診の結果が「要精密検査」となる場合があります。(偽陽性)

* 精密検査の内容によっては、出血などが起こる場合があります。

◇がん検診は、これらの起こる確率の低いデメリットよりもがんで亡くなることを防ぐメリットが大きいことが証明されているため、必ず定期的を受診するようお願いいたします。

◇最新(令和4年)のがん死亡数が多い部位は以下のとおりとなっています。

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓
女性	大腸	肺	膵臓	乳房	胃
男女計	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓

※子宮頸部がんの死亡率は上位5位には入っていませんが、子宮頸部がんになる人は比較的多く、また近年増加傾向にあります。

◇がん検診を受診し「異常なし」と判定された後でも、検診を受

ける前でも何か症状が出た場合は、次回のがん検診を待たずに医療機関を受診することが大切です。

◇要精密検査となった場合には、必ず精密検査を受けてください。精密検査を受けることが困難であることが予想される場合は、がん検診を受ける前に、主治医等にごがん検診受診について相談してください。

◇精密検査結果は、精密検査実施機関から智頭町へ報告することとなっております。精密検査結果は、個人の同意がなくても、市区町村やがん検診実施機関に対して提供できることとなっております(個人情報保護法の例外事項として認められています)。

【胃がん検診について】

◇この受診券を使って受けられる検査は、集団検診(検診車)は胃部レントゲン検査(胃バリウム検査)、医療機関検診は胃内視鏡検査です。

胃部レントゲン検査

検査当日の朝は絶飲食とし、バリウムを飲みレントゲン検査を行います。検査中は、体の向きをいろいろ変えていただく必要があります。検査終了後、下剤を服用しても検査当日の夜までに排便がない場合は、医療機関を受診してください。

胃内視鏡検査

検査当日の朝は絶食です。先端にカメラのついたチューブを口または鼻から挿入して検査します。必要に応じ、胃の粘膜の一部を採取し、組織検査をする場合もあります。内視鏡検査の結果、処置が必要な場合など、保険診療扱いになる可能性があります。

(裏面に続きます)

◇胃部レントゲン検査を受け、精密検査になった場合、胃内視鏡検査を受けていただきます。

◇胃内視鏡検査を受けた場合も、胃内視鏡の再検査や胃の粘膜の一部を切り取って調べる検査が必要な場合があります。

【大腸がん検診について】

◇この受診券を使って受けられる検査は、便潜血検査です。自宅で採取した便を用いて検査します。

◇便潜血検査で要精密検査となった場合は、全大腸内視鏡検査を受けていただきます(便潜血検査の再検査は不適切です)。全大腸内視鏡検査が困難な場合は、S状結腸内視鏡検査と注腸エックス線検査を併用する場合があります。

◇大腸内視鏡検査では、前日夜から下剤等を服薬し、腸内を空にした後、先端にカメラのついたチューブを肛門から挿入します。必要な場合は、大腸の粘膜の一部を切除し、検査します。

【肺がん検診について】

◇この受診券を使って受けられる検査は、胸部レントゲン検査です。50歳以上で「一日の喫煙本数×喫煙年数」が600以上の人は、喀痰検査も行います。

◇要精密検査となった場合は、CT検査や気管支鏡検査等を受けていただきます(喀痰検査で要精密検査となった場合に、喀痰検査を再度行うことは不適切です)。

◇CT検査は、X線を使って身体の断面を撮影する検査です。

◇気管支鏡検査は、先端にカメラのついた細いチューブを口、または鼻から挿入し、気管支を観察します。必要な場合は、組織の一部を切除し、検査をします。

たばこを吸わない人に比べて、たばこを吸う人は日本人男性では約5倍、女性では4倍肺がんで亡くなるリスクが高くなり、たばこを吸う年数、本数が多いほど肺がんになりやすいという研究結果が出ています。たばこは喫煙者本人のみならず、周りの人(受動喫煙者)の肺がんリスクもあげてしまいます。禁煙によってご自身と周りの人の健康な肺を守りましょう。

【乳がん検診について】

◇この受診券を使って受けられる検査は、マンモグラフィ検査(乳房のレントゲン撮影)です。

◇要精密検査となった場合は、視触診、マンモグラフィの追加撮影、超音波検査などを受けていただきます。場合によっては乳房の一部の組織を切除し、検査する場合があります。

【子宮頸部がん検診について】

◇この受診券を使って受けられる検査は、子宮頸部の細胞診です。子宮の入り口の細胞を一部切除し、検査します。

◇要精密検査となった場合は、子宮頸部の細胞・組織を一部切除する検査や、HPV検査(ヒトパピローマウイルスの感染について調べる検査)などを受けていただきます。

【骨密度検査について】

◇この受診券を使って受けられる検査は、骨密度の検査です。超音波を用いて骨密度を検査します。

◇必要時は、医療機関等への受診勧奨を行います。

【肝炎ウイルス検査について】

◇この受診券を使って受けられる検査は、肝炎ウイルスの検査です。採血をして検査します。

◇健康指導対象者となった場合には、精密検査の結果把握や定期検査の勧奨を行います。